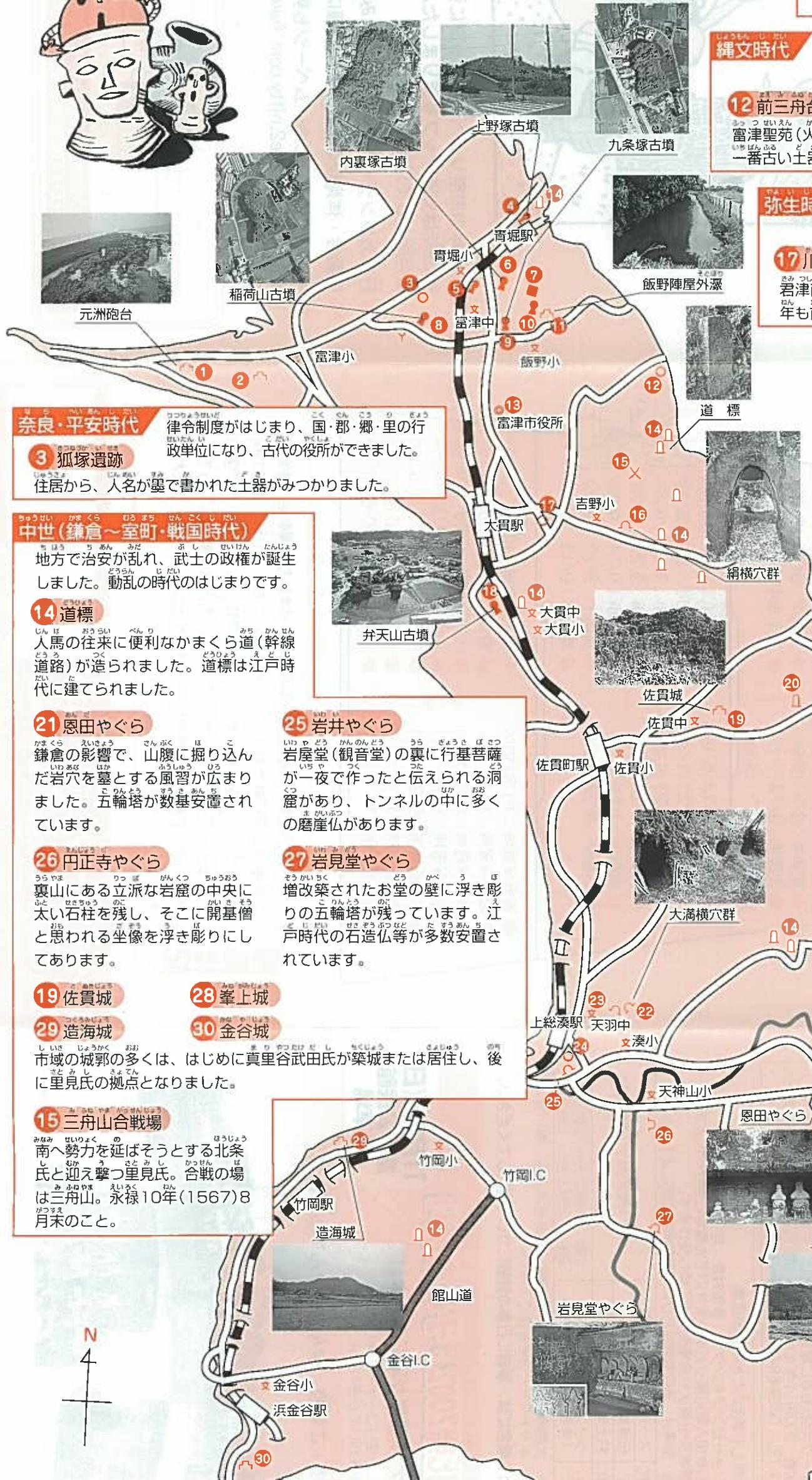


# 保存版 ふつつ史跡マップ

「ネットワーク」が選んだ代表的な史跡です。  
富津市には大切な文化財などが、まだまだたくさんあります。

ふつつにも昔のものがいっぱいあるんだなあ。あぶないところもあるから、おとなと一緒にでかけてね。あたたかい季節はマムシなんかにも注意してね。



## 奈良・平安時代

**3 狐塚遺跡**  
住居から、人名が墨で書かれた土器がみつかりました。

## 中世(鎌倉～室町・戦国時代)

**14 道標**  
人馬の往来に便利なかまくら道(幹線道路)が造られました。道標は江戸時代に建てられました。

## 21 恩田やぐら

鎌倉の影響で、山腹に掘り込んだ岩穴を墓とする風習が広まりました。五輪塔が数基安置されています。

## 26 円正寺やぐら

裏山にある立派な岩窟の中央に太い石柱を残し、そこに開基僧と思われる坐像を浮き彫りにしています。

## 19 佐貫城

市域の城郭の多くは、はじめに真里谷武田氏が築城または居住し、後に里見氏の拠点となりました。

## 28 奎上城

初期には国内の反乱を防ぐため、幕末期には異国船に備え、砲台・陣屋を築きました。

## 29 造海城

南へ勢力を延ばそうとする北条氏と迎え撃つ里見氏。合戦の場は三舟山。永禄10年(1567)8月末のこと。

## 15 三舟山合戦場

南へ勢力を延ばそうとする北条氏と迎え撃つ里見氏。合戦の場は三舟山。永禄10年(1567)8月末のこと。

## 25 岩井やぐら

岩屋堂(観音堂)の裏に行基菩薩が一夜で作ったと伝えられる洞窟があり、トンネルの中に多くの磨崖仏があります。

## 27 岩見堂やぐら

増改築されたお堂の壁に浮き彫りの五輪塔が残っています。江戸時代の石造仏等が多数安置されています。

## 30 金谷城

相次ぐ地震や日照りに悩まされた農民を救うための難工事は、1822年成就しました。今も冷たい水が。

## 近世(安土・桃山～江戸時代)

**11 飯野陣屋**  
1648年築造。日本三陣屋(「三大陣屋」は誤り)の一つと称され、東京ドーム約3個分と規模が大きいのが特徴でした。

## 2 富津陣屋

1821年、波左間陣屋(館山)より移転。洲崎台場も富津へ移り、「富津名物、陣屋に台場」と親しまれました。

## 20 関用水

相次ぐ地震や日照りに悩まされた農民を救うための難工事は、1822年成就しました。今も冷たい水が。

## 旧石器時代

土器が発明される前なので先土器時代ともいいます。狩りをしながら移動していたようです。

## 23 東天王台遺跡

今から15,000年ほど前の石器が発見されました。

## 縄文時代

日本では世界でも最も早くから土器を使用していました。土器に縄などで文様をつけていたんだよ。

## 12 前三舟台遺跡

富津聖苑(火葬場)をつくるとき、千葉県で一番古い土器のかけらが発見されました。

## 24 富士見台貝塚

縄文時代のゴミ捨て場は、当時の生活や環境がわかるタイムカプセルだよ。

## 弥生時代

稲作を中心とする文化がやってきました。千葉県に弥生文化が入ってきたのは2,000年ほど前のことです。

## 17 川島遺跡

碧津商業高等学校のまわりでは、2,000年も前からムラが発達してきました。

## 13 打越遺跡

今から1,900～1,600年前、今の市役所のあたりは大集落でした。

## 古墳時代

全国で古墳が造られるようになります。豪族の墓である古墳は、大和朝廷の支配の象徴でもあります。

## 内裏塚古墳群

小糸川流域を治める須恵國造一族の墓域は、東京湾を渡って最初に目にする大和印でもありました。

## 6 内裏塚古墳

5世紀中頃(前半)の前方後円墳。墳丘長144m。南関東(千葉、埼玉、東京、神奈川)で一番大きな古墳。

## 4 上野塚古墳

5世紀末頃の前方後円墳。墳丘長44m。青堀駅前に一部保存されている、帆立貝形の古墳。

## 8 稲荷山古墳

6世紀後半の前方後円墳。墳丘長106m。二重周濠の外では長軸206mで、内裏塚古墳群中最大。

## 10 三条塚古墳

6世紀後半(末頃)の前方後円墳。墳丘長122m。同時期の古墳としては天皇陵クラスにも匹敵し、東国最大。

## 7 割見塚古墳

7世紀半の方墳。墳丘辺長40m。二重周濠を含めた規模(辺長108m)では方墳としては県内最大級。

## 18 弁天山古墳

5世紀中頃(後半)の前方後円墳。墳丘長88m。石室の天井石に奈良県以外では珍しい繩掛突起が。

## 16 絹横穴群

横穴は古墳時代後半～平安時代中頃の墓域。壁面に「大同元年」・「許世」・「古世」・「木」の線刻が。

## 22 大満横穴群

総数約60基。天井に朱、側壁の下部に白い漆喰を施した横穴も。2基に船の線刻が(中世のものか)。

## 近代(明治・大正)時代

開国は、文明開化をもたらすと同時に、富国強兵政策の始まりでもありました。

## 1 元洲砲台

明治14年(1881)東京防衛の一環として築きはじめました。今は富津公園の一部として憩の場となっています。